

平成29年度 学校関係者評価書

学校名	和歌山市立名草小学校
作成日	平成30年3月8日

1 教育目標

心豊かで たくましく生きる子ども

2 学校の自己評価についてのご意見

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標に対する意見	現在の目標でよい。	現在の目標でよい。 ・芸術に触れる活動も取り入れてほしい。 ・読書活動の推進をさらに進めてほしい。	現在の目標でよい。 ・さらに基礎学力の向上を（読み・書き・計算）

取組の状況に対する意見	・毎月の学校便りは学校の行事や校長の方針が分かりこれからも続けてほしい。 ・子ども支援センターや児童相談所との連携は必要だと実感しています。	・図書室の開放をさらに進めてほしい。 ・読書は感動や知識を与えてくれ、心を耕してくれるので家で自分の好きな本を読んでほしい。 ・体育館舞台下の浸水は何年も前からだったので、早急に改善してほしい。 ・体力や学力などを数値化し可視化することは、現状・進捗状況などが常に把握できるので良いと思います。	・先生方は子どもたちの学力向上のために努力されていると思う。 ・算数における思考力が自然と身に付くと理科・数学など学力はもちろん仮説を立てて実行できるようになり、状況対応力が育つと思います。生きていくうえで困難なことに出会っても強い心を保ち続ける素晴らしい力になると思います。これからも続けていってほしいと思います。
検証結果に対する意見 取組の適切さの	・避難路の整備や清掃については地域の方々の協力を得て行えた。	・家庭に本がない（漫画や雑誌は別）ところやあってもHow To本という家庭も多いと思います。少しでも本と触れ合う時間を学校で確保できるのは良いと思います。また、読書は小さいころの習慣に関係すると思います。 ・家庭内の読書はなかなかできないので、学校で読書の時間の充実を図っていただくのはありがたい。	・全国学テにおいて平均正答率や順位の上昇は先生方の努力が目に見える結果となり喜ばしい。 ・児童アンケートの「毎日の勉強が分かる」の部分でのクラスの差がある学年があるのが気になります。
改善方法に向けての意見 次年度に向けての	・避難訓練については、同じ場所に避難する内原地区とも話し合う必要がある。 ・学校の学級園の手入れなどを地域の人にお願するなど、地域の方との交流はいいことだと思う。 ・運動会を2回見学したが、何ら交流もなくてただ見ているだけだった。何か参加種目があってもよいのではないかとと思う。	・家庭内の読書はなかなかできないので、学校で読書の時間の充実を図っていただくのはありがたい。 ・読書の時間にただ本を読んでいるのではなく目的をもって読んでみる指導をしてほしい。 ・トイレの様式化を加速させてほしい。 ・空き教室の活用や整理を育友会が協力できる体制があればと思います。	・授業では間違っても恥ずかしくない雰囲気を作れたらと思う。間違えても自分の意見を言えた子どもを褒めることを心掛けてほしい。自信を持たせたい。 ・予算のない中、山本先生のご協力をいただけるのは素晴らしい。

3 その他の課題

・児童の安全確保には交通規制も大事であるが、子どもたちのマナーも指導していかななくてはならない。
 ・施設の老朽化は仕方がないとして子ども達や保護者とともに清掃し、気持ち良い校舎にできればと思う。
 ・人を敬う気持ち、他人の気持ちが分かる心を養ってほしい。
 ・大雨時の浸水や雨漏り、火災報知機の交換等施設の老朽化に伴う補修や改善には取り組んでくれていると感じる。
 ・猪（いのぶた）の出没は心配である。安全を第一に考えて早く対策を講じてほしい。
 ・施設の老朽化に伴い予期せぬ問題が起こると思いますが、その都度最善だと考えられる対応を取られていると思います。古くても学校を美しく保つ取組子どもたちともに行われている（下足ホールがきれい・トイレのスリッパがそろっている・ランドセルがきれいに取まっている・雑巾がきれいに干されている）ので、配慮が行き届いていると実感しています。